



「病気という鬼を退治する桃太郎」の スピリットで、地域医療の向上のために 電子カルテを強力なスタッフに加えています。



内科・消化器科・循環器科・漢方

●医療法人社団 桜春会 平沢クリニック 様(東京都福生市)

同クリニックの正面玄関には「桃太郎」をイメージしたユニークなロゴマークが描かれています。これは岡山出身の平沢 龍登院長が「病気という鬼を退治したい」との理念を、故郷のシンボル桃太郎に託したもの。地域医療の向上のために、精度の高い先進医療機器を配備し、内科・消化器科・循環器科に加える一方で、伝統的な漢方医療にも取り組んでいます。同クリニックが電子カルテを導入したのは2001年8月。「開院以来BMLに検査を依頼しており、信頼性に大きな安心感があったことと、サポート体制がしっかりしていることが決め手になりました。操作性も容易なため、数名いる非常勤医師も電子カルテをスムーズに使いこなしてくれています。エコー・内視鏡・CRなどファイリングシステムとの相性も良く、患者さんに病状等をビジュアルで説明できるため、今や電子カルテは当院の欠かせないスタッフになっています」(平沢院長)

現在、同クリニックでは受付2台、診察室2台、サーバー1台の構成で、BMLの《メディカルステーション クリニック》を活用されています。

患者さん、お医者さんに
うれしい電子カルテ。

